



「デ

イバート（討論）は、テーマに賛成または反対の立場から、論理的に審判を説得する競技です。相手を言い負かすイメージとは違います。面白いですよ」と語る馬場さん。

情報があふれている現在、自分に都合の良い情報だけではなく正しい情報を判断し、人の話を聞いて自分の意見を伝えることができる大人になってほしい。ディベート大会の開催には、青少年育成にそのような願いがあるそうです。

「昨年、大会の運営を一般社団法人佐野青年会議所から引き継ぎました。大会は、手弁当の仲間と共に寄付協賛で運営しています。協力してくださっている皆さま、支えてくれる家族と会社の社員みんなに心から感謝しています」

第10回大会は、10月29日(日)に9チームが参加し、大会が第10回を数える間に複数の中学校にディベート部ができ、今や全国大会に出場する部もあるといえます。少しずつ、佐野の中学生にディベ

やりたいことたくさんあるんです

キラリ話題の人 だいすけ 馬場 大輔 さん

共同製袋株式会社代表取締役社長
佐野市中学生親善ディベート大会
実行委員長
令和5年度
佐野市幼稚園PTA連合会会長



佐野市中学生親善ディベート大会HP

トの存在が広まりつつあります。「私たちの生活の中で話し合いは常にありますよね。ディベートを経験すると賛成と反対、両方の立場を考えられる『話せば分かる人』になります。ディベートの考え方は、子どもたちが自分の身を守るのにも、将来何をするにも役立つと信じています。一人でも多くの中学生にディベートを学んでほしいです」と熱く語ってくださいました。馬場さんは自身の仕事を忙しくこなしつつも、地域の活動にも積極的に参加されているようです。

(市民記者 芝口明子)



▲昨年の大会の様子

ようこそ 市長室からこんにちは！



佐野市長
金子 裕

今月は「定住促進」に向けた取り組みについて少しお話ししたいと思います。

本市が持続的に発展し続けていくためには、出生率の向上と転入増を図り、定住人口を確保する対策が必要不可欠となります。そうした中で、本市の最上位計画に当たる第2次佐野市総合計画においても「定住促進」を推進テーマとして定め、推進してきました。

「佐野らーめん店の後継者育成」と、移住希望者にとって課題となる「仕事探し」という2つのニーズをマッチングさせるプロジェクト「佐野らーめん予備校」では、ご家族と共に佐野市に移住してくださった方も多数おり、卒業生の出店も7店となりました。

また、令和2年10月から実施している、高速バス定期券を利用して東京圏へ通学・通勤する方への奨励金についても、年々利用者が増加しています。先月からは、東武佐野線を利用し

て東京23区経由で東京圏へ通学・通勤する方も対象になるよう拡充したところです。

通勤者については、ひと月に10回以上特急券を利用した場合に月額5千円を、通学者には定期券代の3分の1（年額上限2万円）を上限に、奨励金を交付します。

これからも、人口流出抑制のため、都心への公共交通の利便性向上を図るとともに、UIJターンを応援し、地域活性化を推進していきたいと思えます。

朝晩の冷え込みに、冬の気配を感じるこの頃ですが、気温差も大きく、体調を崩しやすい季節ですので、どうぞご自愛ください。



▲佐野らーめん予備校ホームページ



▲東京圏通学者・通勤者定住促進奨励金



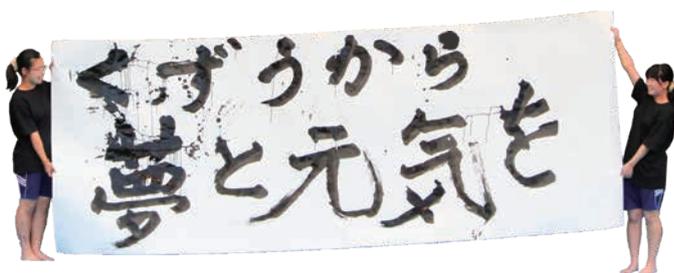
今年で34回目を迎えました！
くずう原人まつり開催

9月23日(土)・24日(日)の2日間、嘉多山公園において「第34回くずう原人まつり」が開催されました。

オープニングセレモニーは、恒例の「原人火おこし」から始まり、青藍泰斗高校の書道部が書道パフォーマンスで祭りのテーマ「くずうから夢と元気を」の文字を力強く書き、祭りがスタートしました。

原始時代から行われていた、木と木をこすり合わせた摩擦熱で火をおこす「古代火おこし体験」のほか「化石発掘体験」や「ふれあい動物園」など、親子連れなどでにぎわいを見せていました。

原人ステージでは、本市出身のアーティストによるプレミアムライブやダンス、抽選会などで盛り上がり、最後は和太鼓の競演で勇壮なフィナーレを迎えました。



ゴルフで深まる世代を越えた仲間との絆
新合ゴルフ愛好会記念大会

新合ゴルフ愛好会（通称：THK）の第200回記念大会が9月10日(日)に足利カントリークラブ飛駒コースで開催されました。

同会は50年前に「相互の親睦と融和、ゴルフを通じて健全な心身の育成」を目的に発足しました。30代から80代までの会員40人で構成され、年4回ゴルフを行い、会員間の交流を深めています。

同会の荒居幸一会長は「今後も良き先輩たちの意思を引き継いで、これからも会の良いところである年齢関係なくみんなで楽しくプレーしていくことを続けていきたい」と話していました。同会のますますの発展を願うばかりです。

(市民記者 飯田瞬)



佐野ラーメンを日本一に！
日本ご当地ラーメン総選挙

ご当地ラーメンの日本一を決める「日本ご当地ラーメン総選挙」に「佐野らーめん会」が激戦の関東ブロック予選を1位で通過し、本戦イベントへ出場を決めました。

本戦は10月5日(木)～9日(月祝)の5日間、新宿区立大久保公園において開催され、ラーメン1杯につき1枚の投票コインによる投票のほか、SNS閲覧数などによって、ご当地ラーメン日本一を決定しました。

「佐野らーめん会」は、惜しくも入賞は逃してしまいましたが、現地に足を運んでくださった皆さん、SNSで応援をしてくださった皆さん、ご協力ありがとうございました。